

男女共同参画の視点で考える防災研修について

1 目的

過去の災害において、防災や復興の方針決定過程に女性の参画が少なく、災害対応において男女のニーズが反映されなかったことなどを踏まえ、地域の災害リスクを軽減するには男女共同参画の視点が必要不可欠であることを理解するとともに、行政と地域が協働して防災における男女共同参画の推進を図ることにより、多様な住民のニーズに対応したより質の高い防災対策・対応を可能にする。

2 事業概要

- (1) 日時 令和2年1月28日(火) 13:30~15:30(予定)
- (2) 対象 約50名
市町(男女共同参画担当部局・避難所運営担当部局)
地域のリーダー層(防災士、自主防災組織等)
県職員
- (3) 会場 県庁第1別館 3階 第3・5会議室
- (4) 内容 内閣府が策定した「男女共同参画の視点からの防災研修プログラム」を元にした研修内容(予定)

項目	内容	時間(分)
オリエンテーション	主催者挨拶・研修目的説明	10
座学	「防災と男女共同参画」 ・災害時の男女のニーズ ・防災に関する意思決定の場への女性の参画の必要性 等	30
ワークショップ	シチュエーションシートを使ったグループワーク ・各グループでシートに沿って対応を考える ・自分たちの地域を振り返り、どのような課題があり、これを解決するためにはどうすればいいのかといった対策を考える	60
まとめ	各グループの発表をまとめ、研修内容が日々の実践につながることを確認する	20

- (5) 講師 東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター
特任助教 宇田川 真之